

機械器具設置工事業における激突災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
2	6~7	自社の倉庫で四角い木材をトラックに搬入中、トラック荷台あおり部にぶつめた。	35	10~29
3	15~16	工場内において空気配管の修理作業中に、600mmモンキースパナで配管用エルボの締め付け作業を行っていたところ、スパナがエルボから滑り、エルボ脇に設置されているパネルの付属品に右手を強打し、右手薬指を負傷した（手袋着用なし）。	55	10~29
6	15~16	事務所におけるセキュリティシステムの変更工事に際し、配線のため天井裏に入り作業中、足元の天井パネルから突き出しているビス先を避けながら中腰で前進している時に、足元に気をとられ、足場である天井パネルから高さ1.3m程にある屋根を支える鉄骨（H形鋼）に、前頭部ヘルメット下の眉間右寄りを直接強打し、負傷したものである。	34	1~9
6	9~10	梯子の地上から1m程の高さの位置で、旧ソーラーを降ろしている際、バランスを崩してしまい旧ソーラーを手から離し、本人はその高さから地上に飛び降りた。着地面がコンクリートだったため、右足の踵骨を骨折した。着地面には障害物はなかったが、右足側に重心がかかるように着地したため骨折したと思われる。	46	1~9
7	14~15	太陽光パネル野立て設置工事現場において、休憩中にお茶を飲もうとした際、誤って野立ての機材に手の甲をぶつけ負傷したものの。	28	1~9
10	17~18	冷凍冷蔵設備を修理中、作業工具をサービス車から運搬中携帯電話に着信有り、通話終了後再度作業工具を車から取ろうとした時サービスカーのバックドアの左角に	35	50~

		頭をぶつけてしまった。		99
12	17~18	エレベーターピット内で、脚立を梯子状にしてエレベータードア開口に半分掛かるようにして、直前作業を行っていた。一旦外部に出た後から再度ピットに降りようと脚立に両足を掛けた際にバランスを崩し、危険を回避しようと1.3m下のピット床面に飛び降り着地したところ、左足踵を負傷した。	37	1 ~ 9

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html